

- 1) テーマ:「地域の暮らしを知る 農業体験」
- 2) カテゴリー:連携
- 3) 学校概要:①学校名:京都中部総合医療センター看護専門学校
 - ②所在地:京都府南丹市八木町南広瀬上野3番地1
 - ③課程名:3年課程 1学年 40名 就業年限 3年

【ねらい】

本校は「地域で暮らす人々の生活や文化、価値を理解し慈しむ豊かな感性を持ち、常に誠実に対象に寄り添い信頼される」を教育目標とし様々な地域交流から看護を学ぶカリキュラムの構築をしている。地域・在宅看護論において農業体験を演習講義として組み入れており、農作業を教えてもらいながら互助・公助・自助の実際をインタビューする。

学生達は高齢者が健康を維持するための日常生活や病院受診の方法、代々受け継がれてきた農業という営みを継承していくことへの価値観などを学ぶ。そして受け継いだ次世代の方の暮らし、成人期での健康問題への取り組み、地域で支え合う子育てなど様々な世代の価値観や発達課題も学んでいる。

学生達は農作業の大変さだけでなく地域のコミュニティの必要性、家業を継承していくことの難しさ、過疎地の医療問題など多くの学びをしている。学生の中には「移住したい」「お祭りに参加してきました」など地域に関心を寄せている。この体験が病院から地域へと広い視野を持ち、地域を支える役割としての看護ができることを期待している。

●スケジュール

時間	内容
9:00~12:00	農業体験・インタビュー
12:00~13:00	地域の野菜を使ったお弁当を一緒に食べる。
13:00~13:30	学生からのプレゼンテーション・ご挨拶
14:30~16:10	帰校 学びのまとめ学習



学生の学びと農業体験の様子



農業体験を行い農家の方の暮らしについて学ぶことができました。夏場はビニールハウス内の気温が40度を超えることもあり熱中症や脱水にならないために季節によって作業時間を変えておられました。私達は脱水予防として経口補水液など糖分の多い飲み物を1日に2L以上飲むと糖尿病のリスクが高くなるため適度な量の補水についてお伝えしました。お昼には地域で採れた野菜を使った美味しいお弁当をいただきましたが、このような美味しい野菜を育てるために日頃から手洗いや感染症が流行っている時は人の多い場所へ行かないなど感染予防にも留意されるなど健康管理方法について学ぶことができました。(学生A)

水菜の栽培をされておりそのお手伝いをしながら「困った時は助けてくれる家族ぐるみの付き合い」「子育てがしやすい」など地域のコミュニティや1日の過ごし方、地域での活動、健康に対する意識などを聞かせていただくことができました。お話の中で私たちが応援してくださっていることを感じもっと頑張ろう!という意欲にも繋がりました。3年生の実習でもこの経験を活かして、頑張りたいと思います。(学生B)

